

08年度政務調査費の収支を報告します

このほど、2008年度の日本共産党県議会議員佐々木泉の政務調査費の使いみちを示す「収支報告書」と「事業実績報告書」を議長あてに提出しましたので、その内容をご報告いたします。2008年度分（2008年4月1日～2009年3月31日）は、総額396万円のうち約293万円を使用し、残り約103万円を返納することになりました。

政務調査費は議員一人あて月33万円で、従来は会派に対して支給されていましたが、2008年度分から、支給先が議員個人に変わりました。したがって、前年度までとの正確な比較にはなりません、参考のために3年分を対比してみます。

	2006年度	2007年度	2008年度
支給額	4,290,000円	3,960,000円	3,960,000円
調査研究費	156,525円	26,240円	64,610円
研修費	0円	1,000円	0円
会議費	0円	0円	0円
資料作成費	1,027,110円	0円	0円
資料購入費	491,530円	153,160円	138,900円
広報費	614,953円	1,600円	283,075円
事務所費	0円	0円	0円
事務費	107,197円	76,048円	59,621円
人件費	1,749,800円	1,117,700円	2,380,000円
合計	4,147,115円	1,375,748円	2,926,206円
返納額	142,885円	2,584,252円	1,033,794円

08年度の支出の詳細はつぎのとおりです。

【調査研究費】 64,610円

県外出張（09年1月8日 香川県さぬき市） JR往復料金 8,410円

市内在住の伊方原発関係労働者からの原発火災体験の聞き取り

県外出張（09年2月24日 東京都千代田区） 航空券往復料金 56,200円

国土交通省及び原子力安全・保安院に原発震災とプルサーマル燃料輸送について聞き取り

【資料購入費】 138,900円

「愛媛県法規集」差し替え手数料（5回分）第一法規 127,400円

「社会新報」(購読料12カ月分)	社会民主党愛媛県第1支部連合	8,400円
書籍「くらしに役立つ制度のあらまし」	松山市生活と健康を守る会	3,100円
【広報費】		283,075円
ホームページ作成費(立ち上げ時)	オフィスはなみずき	75,975円
ホームページ更新料(文書作成料含む134件)	〃	207,100円
【事務費】		59,621円
電話代(控室固定電話・12カ月分)	西日本電信電話株式会社	43,921円
コピー代	愛媛県教職員組合	10,050円
郵便切手代	愛媛県庁内郵便局	3,060円
文具購入費(用紙・糊)	天昭堂、福井善商店	2,590円
【人件費】		2,380,000円
調査研究活動の補助業務を行なう職員1名の給与		2,380,000円

以上のとおりですが、08年度の政務調査費では、もっとも大きな比率を占めるのが【人件費】で、私どもの政務調査の中心が、議員と議員団事務局職員による各分野の実態の聞き取りをはじめ、現場をたずねての調査など「身体を使っての政務調査」にあることを示しています。また、次に多いのが【広報費】で、これは、政務調査に基づく各種の県への申し入れ文書、本会議での一般質問と答弁、調査の過程で仕入れた情報・統計資料などをHPで公開し、さらなる政務調査の発展に結びつけようというものです。この一年、HPを見ての情報提供や調査依頼、相談の持ち込みなどが多数ありました。また、私どもの議員だけでなく他党議員の質問要旨をいち早く伝える点でこのHPは数少ない情報源です。

【調査研究費】は調査のための旅費などです。私どもの場合、そう多くありませんが、それは、ここに計上している調査費以外にも、日常的に松山市内をはじめ県内各地で調査を実施していますが、軽微な費用であるため特に請求していません。

なお、【研修費】は使っていませんが、2008年夏に新潟県柏崎市で開かれた全国原発反対住民運動交流集会と、大阪で開かれた自治体学校に参加し、原発と地震被害、道州制の問題点などを学んできました。いずれも、参加費・交通費は自費を充当。【会議費】については、必要な打ち合わせや会議を県議会内の共産党議員控室、応接室や公営施設内の無料会場で行なったため、今期は出費なしでした。【資料作成費】についても、必要な資料は提供者から頂くなどしたため、とくにありませんでした。また、個人の事務所を置いていないため、【事務所費】の支出もありません。